

作成日： R7 年 1 月 27 日

令和 6 年度 第 1 回 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所連絡会議事録

日 付	令和 7 年 1 月 22 日（水）
時 間	10:00 ～ 12:00
開催会場	Zoom
参加機関等	【出席】 みっきーはうす、めばえさくら、発達サポートセンタープレスタかがわ、こどもサポート教室きらり伏石校、児童デイサービスコンサフォス、体感クラブレスリ上天神、児童デイサービスふわり、こどもサポート教室きらり栗林南校、みどりクローバー空港通り、発達サポートよつば、デイサービスしののめ、こども発達支援センターたいよう、COMPASS 発達支援センター高松 Apple、児童デイサービスハンズ、児童デイサービス空、とわね、児童発達支援センターKusuの木、児童デイサービスあかとんぼ、障害児通所支援事業所 U サポート高松、しまじろー・さくら、やったーまん、かみふうせん、ことばとこころの発達支援ひろばアルペジオ、COMPASS そがわ、デイサービスしののめ、児童発達支援センターいろは、coco 虹、児童デイサービスふたば、児童デイサービスしゃぼんだま、プレシャスデイズ、ノアーズアーク、発達サポート プレスタにこ、こどもサポート教室きらり円座校、みきの家、すくすく広場 児童発達支援センター香川こだま学園、高松市障がい福祉課、三木町福祉介護課、直島町住民福祉課、障害者生活支援センターあい高松市総合教育センター、地域生活支援センターこだま高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点、順不同 計 46 名

議題 1： 「行政の方に色々聞いてみよう」について

議 事	① 高松市障がい福祉課より事前質問に対する回答 添付資料① 三木町健康福祉部 福祉係より補足あり。
-----	---

議題 2： グループワークについて

	① グループより 事務所の運営の工夫について、事業所同士で交流している。スタッフ確保への取組みとして他事業所のチラシと一緒に配布している。外部研修への参加は研修内容を吟味して受講するしないの判断をしている。その後に職員配置を決めている。 ② グループより
--	--

議 事	利用者ニーズや希望があっても対応できていない。加算について、記録の様式がないので不安がある。ある程度の共通の様式があれば助かる。 ③ グループより 事業所で工夫していることを出し合った。重度の方と軽度の方との活動時間を分ける工夫。待つのが難しい方にタイマーを利用して上手くいったケース。座る活動に参加してもらう工夫として野外活動で自分で拾ってきた落ち葉に装飾してもらったら座れたなど ④ グループより 他害・自傷行為のある方への対応について、他害があった時に前後の様子などを記録に残してデータ化する。家族や学校と共有して対応する。 「かみかみアイテム」を利用することで軽減した。集中力が続かない児童の行動をルーティン化して家族や学校を共有する。日頃の関りでは学校も事業所側も忙しく引継ぎする時間が取れない現状もある。 ⑤ グループより 事業所でアンケートを取り親子で参加できるプログラムや地元の農家に協力して頂き農業体験を実施した。事業所では出来ていないが学校では出来ることあるので共有するようにしている。児童発達支援の5領域は大切だが、そこに捉われずに、その子に合わせた支援方法を考えている。
-----	---